

2021年度 事業報告書

2021年4月 1日から

2022年3月31日まで

学校法人牧野学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 牧野学園 (平成3年5月7日法人設立)

代表者 理事長 富田 重雄

住 所 枚方市牧野阪2丁目19番21号

電 話 072-857-7227

F A X 072-857-7327

設置する学校

住 所 枚方市牧野阪2丁目19番21号

名 称 牧野幼稚園

役 員

理 事 6名

監 事 2名

評議員 13名

理事会 3回開催

評議員会 3回開催

職 員 25名

2. 事業概要

(牧野幼稚園)

《教育方針》

『一人ひとりを大切に考え、様々な体験の中から「可能性」を引き出し、「心」を育む教育』をモットーに自由で伸び伸びとした個性ある子どもに育つよう、子ども達も先生達も楽しみながら日々活動しています。また、当園は『遊んで学ぶ』を教育方針として、遊びから子ども達の可能性を広げていくアットホームで笑顔の絶えない幼稚園です。

《教育内容》

正課では体育・英語・絵画造形教室の先生に来て頂き色々な経験をします。また運動を通して、「体力・集中力・反射神経・忍耐」作りをし、ひらがなや数字等簡単な英語も楽しみながら学びます。

《保育時間》

月～金曜日 午前10時～午後2時

土曜日 休園

《納付金》

保育料 年額308,000円 (12分割均等納付)

教育充実費 年額 24,000円 (12分割均等納付)

冷暖房費 年額 430円

給食費 週4回 月額 3,400円

バス利用料 月額 3,500円

《入園時の費用》

入園料 3歳児 60,000円

4歳児	40,000円
5歳児	20,000円

《預り保育の内容及び費用》

月～金曜日	午前 8時～午前 8時15分	50円
	保育終了後～午後12時30分	50円
	保育終了後～午後 3時00分	50円
	保育終了後～午後 6時00分	400円
	保育終了後～午後 7時00分	700円
夏冬春休み中	午前 8時～午後 3時00分	500円
	午前 8時～午後 6時00分	700円
	午前 8時～午後 7時00分	1,000円

《行事实施状況》

春・秋の運動会、夏まつり、芋ほり、バザー、買い物ごっこ、春・秋の遠足、園外保育、生活発表会、クリスマス会、お餅つき、お別れ遠足、

《施設関係》

園地面積 1,201㎡ 運動場面積 721.6㎡

園舎延べ床面積 832.4㎡

土地の取得

《設備関係》

塀工事、デスクトップパソコン

《事業報告》

2021年度は新型コロナウイルスの感染状況が11月から年明けまでには第5波が収まり社会・経済活動の再開で進展するかと思われたが、1年半ば、より感染力の強いオミクロン株の第6波が全世界で拡大し、わが国においても驚くような感染状況が続く中で新年度を迎えました。

更に、冬季オリンピック閉会の日、ロシア軍によるウクライナ侵攻の戦争が勃発し、世界は新型コロナウイルス以上の課題を抱え、暗黒の状況に陥られています。世界中が一刻も早く侵略戦争が終わることを固唾を呑んで願っています。

さて、2015年4月よりスタートした子ども子育て支援新制度は2022年度では6割近い園が移行し、171園が私学助成で園を運営しています。当園は、私学助成を継続して園を運営しています。

一方、2021年の出生数は、84万2,897千人となり急激な少子化が進行しています。婚姻数も前年度より12%以上減少していることから、2022年以降は一層の少子化が進み、80万人を割り込むことが予想されています。

また、採用状況も依然として厳しい状況が続いています。幼稚園教諭・保育士の養成校も生き残りをかけ学生確保に取り組んでいますが、大阪府内の殆どの養成校では定員を確保出来ていない状況になっています。更に、受験生の多くは4年制大学指向が強くなり、幼稚園教諭の免許及び保育士資格を取得した場合でも企業への就職意欲が強くなり、認定こども園・幼稚園に応募することが極端に少なくな

っています。

当園としては、安定した事業継続を図るため、地域の少子化進行状況及び養成校はもとより、人材派遣会社等から教職員採用状況を調査・検討し、実態をしっかりと見定めてまいります。また、戦争と新型コロナウイルスの影響は当分続くものと思われ、景気の落込みなど保護者世帯の家計も厳しい状況となることが考えられることから、慎重に対応していくことといたします。

そこで、収入を安定させるため、経常費補助金の配分基準内容を十分に把握し、事務を効率化し確実に対応する。

自己評価については、確実に実施し公表しているが、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で十分検討して頂き、別紙を別紙のとおり纏め公表に努めた。

財務面では、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が150,907千円（前年度、147,289千円）、教育活動支出計146,109千円（前年度、144,141千円）、教育活動収支差額4,797千円（前年度、3,147千円）、経常収支差額比率3.21%（前年度2.18%）と安定した経営状況を継続することができた。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は66.81%（前年度67.61%）となった。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

3. 財務状況

別紙参照。